

題材名	本や小物の収納に役立つものをつくろう																										
内容・項目	A－(3) アイウ																										
指導時間	15時間																										
題材のねらい (題材の特徴)	製品の設計から製作まで時間をかけてじっくり取り組ませながら、基礎・基本をしっかりと身につけることと身近にある材料で手軽に製作できることをねらいとしている。																										
学習の流れ (展開の工夫)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>指導項目</th> <th>主な指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2時間</td> <td>・製作品の用途や使いやすさ、機能と丈夫な構造を考える</td> <td>・製作品を使用する場所や目的を明確にさせながら、用途や使いやすさを考えさせる。 ・既製品や参考作品から具体的な工夫点を見つけさせる。 ・身近にある材料を利用して、手軽にでき、自分が活用することを意識させながらイメージをつかませる。【学ぶエネルギー】 ・既製品や参考作品からイメージを持たせるようにする。【かかわり】</td> </tr> <tr> <td>1時間</td> <td>・材料の特徴をまとめ、身の回りにある材料を集める</td> <td>・観察や簡単な実験などから、それぞれの特徴を理解させる。 ・身の回りにある材料に目を向けさせながら、どのようなオリジナル作品を製作するのか考える。【意思決定能力】</td> </tr> <tr> <td>2時間</td> <td>・構想図のかき方を理解し、製作のための構想図を作成する</td> <td>・基礎・基本を明確にし、短時間で指導できるよう工夫しながら、スケッチをもとに、正確な構想図にまとめさせる。 ・毎時間自己評価をさせることで、課題を意識させる。【学ぶエネルギー】</td> </tr> <tr> <td>2時間</td> <td>・材料の切断をする</td> <td>・材料の特徴に応じた加工法があることを理解して材料を正確に切断する。</td> </tr> <tr> <td>3時間</td> <td>・部品加工をする</td> <td>・工具や機器の取り扱いでは、安全な作業を徹底させる。</td> </tr> <tr> <td>3時間</td> <td>・組み立てをする</td> <td>・合理的な接合手順を考えさせながら組み立てるようにさせる。【意思決定能力】</td> </tr> <tr> <td>2時間</td> <td>・製品の仕上げをする</td> <td>・適切な修正を行うようにさせる。 ・素地みがきが作品の仕上がりに影響することに注意させる。 ・実際の生活に活用させる。【かかわり】</td> </tr> </tbody> </table>	時間	指導項目	主な指導内容	2時間	・製作品の用途や使いやすさ、機能と丈夫な構造を考える	・製作品を使用する場所や目的を明確にさせながら、用途や使いやすさを考えさせる。 ・既製品や参考作品から具体的な工夫点を見つけさせる。 ・身近にある材料を利用して、手軽にでき、自分が活用することを意識させながらイメージをつかませる。【学ぶエネルギー】 ・既製品や参考作品からイメージを持たせるようにする。【かかわり】	1時間	・材料の特徴をまとめ、身の回りにある材料を集める	・観察や簡単な実験などから、それぞれの特徴を理解させる。 ・身の回りにある材料に目を向けさせながら、どのようなオリジナル作品を製作するのか考える。【意思決定能力】	2時間	・構想図のかき方を理解し、製作のための構想図を作成する	・基礎・基本を明確にし、短時間で指導できるよう工夫しながら、スケッチをもとに、正確な構想図にまとめさせる。 ・毎時間自己評価をさせることで、課題を意識させる。【学ぶエネルギー】	2時間	・材料の切断をする	・材料の特徴に応じた加工法があることを理解して材料を正確に切断する。	3時間	・部品加工をする	・工具や機器の取り扱いでは、安全な作業を徹底させる。	3時間	・組み立てをする	・合理的な接合手順を考えさせながら組み立てるようにさせる。【意思決定能力】	2時間	・製品の仕上げをする	・適切な修正を行うようにさせる。 ・素地みがきが作品の仕上がりに影響することに注意させる。 ・実際の生活に活用させる。【かかわり】		
時間	指導項目	主な指導内容																									
2時間	・製作品の用途や使いやすさ、機能と丈夫な構造を考える	・製作品を使用する場所や目的を明確にさせながら、用途や使いやすさを考えさせる。 ・既製品や参考作品から具体的な工夫点を見つけさせる。 ・身近にある材料を利用して、手軽にでき、自分が活用することを意識させながらイメージをつかませる。【学ぶエネルギー】 ・既製品や参考作品からイメージを持たせるようにする。【かかわり】																									
1時間	・材料の特徴をまとめ、身の回りにある材料を集める	・観察や簡単な実験などから、それぞれの特徴を理解させる。 ・身の回りにある材料に目を向けさせながら、どのようなオリジナル作品を製作するのか考える。【意思決定能力】																									
2時間	・構想図のかき方を理解し、製作のための構想図を作成する	・基礎・基本を明確にし、短時間で指導できるよう工夫しながら、スケッチをもとに、正確な構想図にまとめさせる。 ・毎時間自己評価をさせることで、課題を意識させる。【学ぶエネルギー】																									
2時間	・材料の切断をする	・材料の特徴に応じた加工法があることを理解して材料を正確に切断する。																									
3時間	・部品加工をする	・工具や機器の取り扱いでは、安全な作業を徹底させる。																									
3時間	・組み立てをする	・合理的な接合手順を考えさせながら組み立てるようにさせる。【意思決定能力】																									
2時間	・製品の仕上げをする	・適切な修正を行うようにさせる。 ・素地みがきが作品の仕上がりに影響することに注意させる。 ・実際の生活に活用させる。【かかわり】																									
題材の紹介と作品例	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>コンパネやベニヤ板を用いて製作した作品例である。少ない種類の材料で製作したラック製品で、生徒が抵抗なく興味をもってつくることができるものがある。</p> <p>ものづくりに対する興味・関心を高めることにより、ものづくりを支える能力などをいっそう高めるとともに、よりよい社会を築くために、技術を適切に評価し活用できる能力と実践的な態度を育成することにつながるものと考えます。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>																										
準備・材料等	・既製品や参考作品 ・製作用工具 ・素材																										
<p>[本題材を考案するに当たって参考にしたもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術・家庭 技術分野 (東京書籍) ・中学校学指導要領解説 技術・家庭編 																											